

## 第 15 回（平成 29 年度第 4 回）CPD 運営委員会議事録

日時：平成 30 年 2 月 21 日（木）15:00 ～ 17:00

場所：森戸記念館 2 階 第 2 会議室

出席者：（順不同、敬称略）

須藤亮委員長（会長）、石原直幹事（副会長）、高木真人委員（副会長）、奥津良之委員（ECE 幹事長）、尾崎章委員（CPD 幹事）、小澤郁夫委員（CPD 委員）

議題：

1. 前回議事録の確認について
2. 各委員会活動報告
3. 平成 29 年度第 2 回 CPD 協議会公開シンポジウム報告
4. H30 事業計画、H29 事業報告について
5. H30 年度第 1 回（春季）CPD 協議会公開シンポジウムについて
6. その他

配布資料：

第 15 回（平成 29 年度第 4 回）CPD 運営委員会 議題表（本紙）

日本工学会 CPD 協議会役員・委員、各委員会名簿（平成 30 年 2 月 21 日現在）

- 1: 第 14 回（平成 29 年度第 3 回）CPD 運営委員会議事録（案）（H29.12.1）
- 2-1: 平成 29 年度第 3 回（第 57 回）CPD プログラム委員会議事録(案)
- 2-2: CPD 協議会 WEB ページ変更（案）
- 2-3: CITP 論文 松田信之
- 2-4: 第 43 回 ECE プログラム委員会幹事会議事録
- 2-5: 第 44 回 ECE プログラム委員会幹事会議事録（案）
- 2-6: CPD 協議会質問意見のページ
- 3: H29 年度第 2 回 CPD 協議会公開シンポジウム報告
- 4: H30 年度事業計画、平成 29 年度事業報告
- 5: 過去 3 年間の公開シンポジウムプログラム
- 6: その他

議事：

1. 前回議事録確認  
石原幹事より資料 1 に沿って H29 年 12 月 1 日開催の第 14 回（平成 29 年度第 3 回）CPD 運営委員会議事録（案）の説明があり、内容を承認した。
2. 各委員会報告

## 2.1 CPD プログラム委員会

高木 CPD プログラム委員長より、資料 2-1 を使って平成 29 年 12 月 6 日に開催した第 3 回 CPD プログラム委員会での審議模様が報告され、以下のような議論があった。

- ▶ CPD 活動の PR を行う際に使用できる広報資料を準備している。今後は「広報委員会」との連携や「在り方委員会」への報告も考えたい。
- ▶ 各学協会の CPD 状況調査を進めているが、今のところ国土交通省、農林水産省関係の（インフラ系）学協会は活発だが総務省、経済産業省関係の学協会は熱心でないという状況が出ている。引き続き調査・分析を進める。
- ▶ 情報処理学会の資格制度に関する資料として資料 2-3「CITP 制度を活用した高度 IT 人材の育成」が紹介された。国家資格（情報処理技術者）との関係などの議論の後、CPD も国際標準の取得に動いてはどうかとの提案があった。
- ▶ 化学工学会からの CPD 協議会メンバーを離脱したい旨の申し出に関し、協議会会長と学会会長・前会長のレベルでの状況確認を行うこととした。

## 2.2 ECE プログラム委員会

奥津 ECE 幹事長より、資料 2-4, 2-5 を使って、H29 年 12 月 19 日開催の第 43 回 ECE プログラム委員会、H30 年 2 月 19 日開催の第 44 回 ECE プログラム委員会での審議模様の報告があった。関連して以下の議論があった。

- ▶ NIMS ECE プログラム、SICE プロセス新塾については計画に沿って順調に推移している。ただ、NIMS(新理事長)の ECE プログラムへの対応にこれまでとの変化が心配される。
- ▶ IoT に関する新 ECE プログラムについては H30 年度に ECE プログラム認定を申請し、認定される見込みである。
- ▶ エレクトロニクス系ハードウェア高度技術者養成プログラムの企画・立案については、塾長人選・教育プログラム体系の原案作成まで進み、講師候補の選定段階になっているが、運営主体を依頼予定の電子情報通信学会・教育委員会の動きとギャップがあり、これから色々対応していくことになるとの報告があった。
- ▶ 4 大学コンソーシアムが進めている教育事業「ナノファブスクエア」の ECE プログラム認定については年度が明けてからの対応とすることとした。

## 2.3 広報委員会

奥津委員長より、資料 6-2 を使って広報委員会の活動報告があった。

- ▶ CPD 協議会ホームページに「お問い合わせ・ご意見」ボックスを配置し、一般からの質問・意見を受け付けるシステムとしたことが報告された。
- ▶ また、来年度より委員を追加（NIMS 原氏）し、広報委員会のパワーアップを図ることが報告された。

3. 平成 29 年度第 2 回 CPD 協議会公開シンポジウム実施報告

須藤委員長より資料 3 を使って H29 年 12 月 22 日に開催した平成 29 年度第 2 回 CPD 協議会公開シンポジウムの開催報告があった。

4. 平成 30 年度第 1 回 CPD 公開シンポジウムについて

(1) 資料 5 の過去 3 年間の CPD 協議会公開シンポジウムプログラムを参考に、H30 年度の第 1 回 CPD 公開シンポジウムの企画について議論した。まず、CPD シンポジウムの議論に先立って、次のような議論があった。

- 「4 年ごと開催の WECC の中間年に日本工学会主催の工学を広く扱うシンポジウムを企画してはどうか」という広崎前委員長から提案を受け止めて CPD 協議会でも検討を進めることとした。
- 奥津委員より、このようなシンポジウムや CPD 活動を盛り上げるために、日本工学会フェローに参画・協力を求めているかどうかとの意見があった。

(2) H30 年度第 1 回 CPD 協議会公開シンポジウムについて以下の議論があった。

- シンポジウムのテーマとして「工学における基盤技術の重要性」と取り上げることとし、運営委員は具体的テーマ名を検討することとなった。
- 開催時期は例年に倣って 5 月後半～6 月初旬とすることとした。
- 特別講演の第一候補として大島まり先生（日本機械学会・会長、東大生研・教授）を選び、石原委員よりコンタクトすることとした。
- 例年と同様に春のシンポジウムは CPD・人材育成の Good Practice に関する情報共有を目的とし、上記テーマ「工学基盤技術」を扱う学会からの報告をアレンジすることとした。基盤技術を扱う、土木学会、コンクリート工学会、電気学会、情報処理学会などに順次当たっていくこととした。

4. 次回会議について

次回は、4 月 16 日（月）の午後 1 時～3 時に開催することとした。

以上